



民間複業人材活用に関する実証実験

最終報告

湯浅町政策企画課

02 _ プロジェクト概要

和歌山の紀州和華牛をもっと有名に！

キックオフ会議の目的

Purpose

実証実験 実施の背景

湯浅町の課題①

- 近年、ふるさと納税の制度改正などにより、納税額が大幅に減少している
- 返礼品の50%以上が柑橘類となっており、1件あたりの単価が安い
- 町内で提供されている「しらす丼」は、人気はあるもののそれに次ぐ新たな名物を開発したい

湯浅町の課題②



- 湯浅町で育てられている「紀州和華牛」が、湯浅町民や観光客に馴染みがない

民間複業人材の活用による行政課題の解決の実証実験実施へ

Schedule

これまでの流れ

流れ	01. 連携協定 02. 公募 03. 選考 04. キックオフ 05. 実施				
時期	令和6年9月17日	令和6年9月17日 ～ 令和6年10月1日	令和6年10月2日 ～ 令和6年10月22日	令和6年11月6日	第1回 令和6年12月17日 第2回 令和7年1月24日 第3回 令和7年3月25日
概要	民間複業人材活用に関する覚書を締結しました	複業クラウドのアプリ上でプロジェクトの求人を2週間にわたって掲載しました	計23エントリーの中から2段階の選考を経てX名のアドバイザーを決定しました	初回のお打ち合わせを実施し、職員とアドバイザーによる各プロジェクトがスタートしました	課題解決に向けて各プロジェクトで打ち合わせを重ねながら取組みました

03 _ 紀州和華牛ブランディングアドバイザー

公募の背景・課題

紀州和華牛をもっと有名に！

湯浅町民が「紀州和華牛」のことをあまり
知られていない
湯浅町内の飲食店で「紀州和華牛」を食べ
られない

設定した半年間の目標

- ★湯浅町内での「紀州和華牛」の知名度
向上
- ★湯浅町内の飲食店で「紀州和華牛」を
食べられる



ブランディングアドバイザー

河合 充さん

大学卒業後、食品メーカーにて商品開発やマーケティング、新規事業の立ち上げに携わる。

ベンチャー企業のたちあがけにも参画し、地域創生や社会課題の解決をテーマとした多様なプロジェクトを推進。現在は東京の大学において、地域連携、研究推進、スタートアップ支援など、アカデミアと社会をつなぐ役割を担っている。

Contents

職員との打ち合わせ

令和6年12月～令和7年4月で合計4回実施(WEB形式)

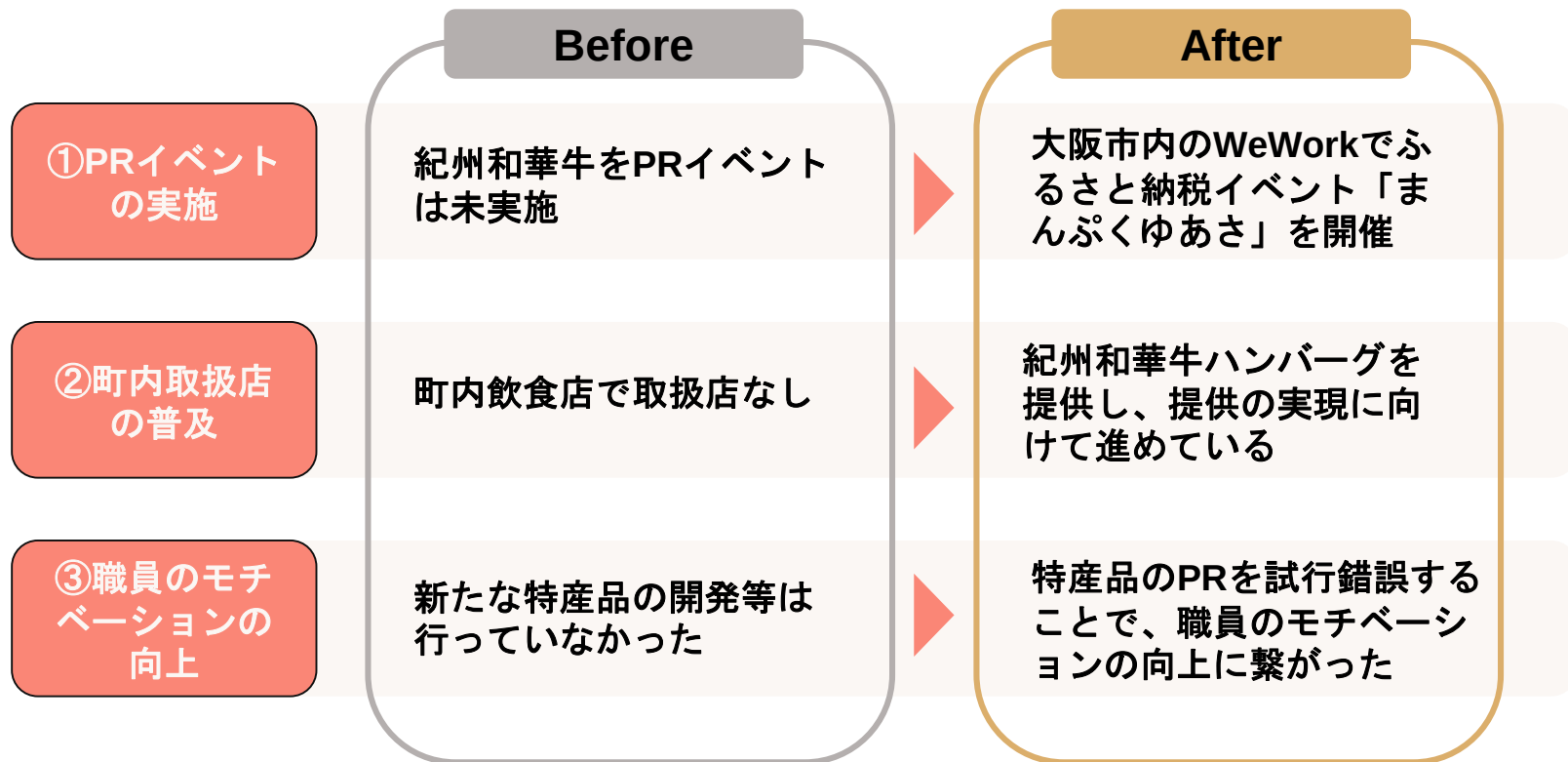
- 第1回：令和6年12月17日（火）
14：00～15：30 オンライン形式で実施
河合アドバイザー、紀州和華牛協議会、役場職員
- 第2回：令和7年1月24日（金）
10：30～11：30 オンライン形式で実施
河合アドバイザー、役場職員
- 第3回：令和7年3月25日（火）
10：30～11：30 オンライン形式で実施
河合アドバイザー、役場職員

協議した内容

- 第1回：紀州和華牛協議会と紀州和華牛の「現状と課題」について共有。課題の解消に向けた打開策について議論を行った
- 第2回：紀州和華牛の課題解決に向けた具体的な取り組みについて、①自治体との取組、②地元企業との取組、③エコツーリズムへの発展の観点から提案をいただいた
- 第3回：紀州和華牛の課題解決に向け、他の自治体事例を紹介いただき、具体的な解決策について協議を重ねた



紀州和華牛のブランディング成果



Outcomes

①PRイベント「まんぷくゆあさ」の実施

大阪市 WeWork御堂筋フロンティアで「紀州和華牛と湯浅の特産品を通じた地域活性化」をテーマに開催

- ・ 副町長、紀州和華牛協議会、植村なおみさん（フリーアナウンサー）とトークセッション
- ・ 紀州和華牛のローストビーフを振る舞う
- ・ 参加者を対象に紀州和華牛アンケートを実施し、紀州和華牛のどのようなところに魅力を感じるかなどを調査



②町内取扱店の普及

紀州和華牛の魅力発信と併せて町内飲食店での取り扱う

- ・ 町内小中学校の給食で提供された
- ・ 公共施設の湯浅駅旧駅舎や湯浅えき蔵カフェでの提供を目指す
- ・ 町内大型イベントでの販売（湯浅まつり花火大会、ギョギョっとお魚まつり、シロウオまつり）



③職員のモチベーションの向上

紀州和華牛のPRを試行錯誤することで、職員のモチベーションの向上に繋がった

- ・PRイベント「まんぷくゆあさ」の開催に繋がった
- ・改めて紀州和華牛が持つポテンシャルや良さを知ることができ愛着が湧いた



複業人材と取り組んだ感想

- ・ 新たな魅力の発見
- ・ ブランド価値を再認識



今後の展開

- ・ 引き続き町内・観光客向けのPR
- ・ 町内飲食店での取り扱いの実現

